

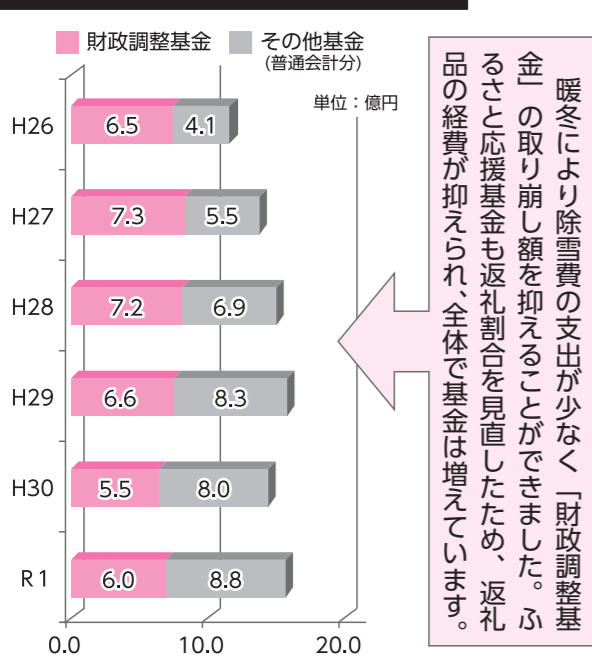
# 令和元年度決算

## 記録的暖冬により除雪

第3回定例会は、9月14日から24日までの11日間の会期で開かれ、令和2年度補正予算や令和元年度決算などの審議を行いました。  
決算は特別委員会を設置し詳細に審査。その結果、全議案について全員賛成で認定しました。

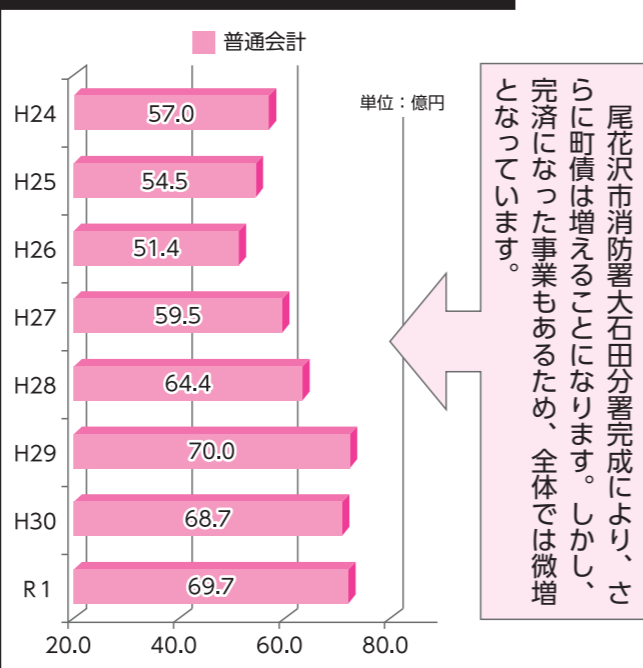


### 基金(貯金)残高の推移



暖冬により除雪費の支出が少なく、「財政調整基金」の取り崩し額を抑えることができました。ふるさと応援基金も返礼割合を見直したため、返礼品の経費が抑えられ、全体で基金は増えています。

### 町債(借入金)残高の推移

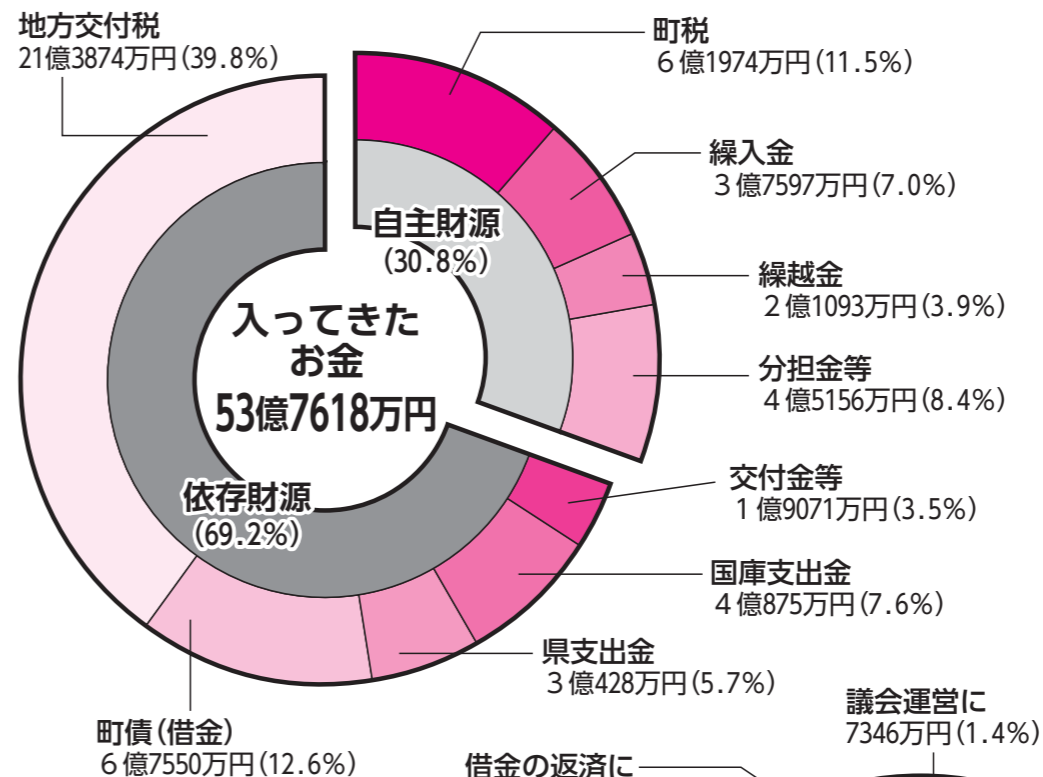


尾花沢市消防署大石田分署完成により、さらに町債は増えることになりました。しかし、完済になった事業もあるため、全体では微増となっています。

## 費用が大きく減額!

### 少雪に助けられ歳出が減

#### 一般会計歳入歳出決算

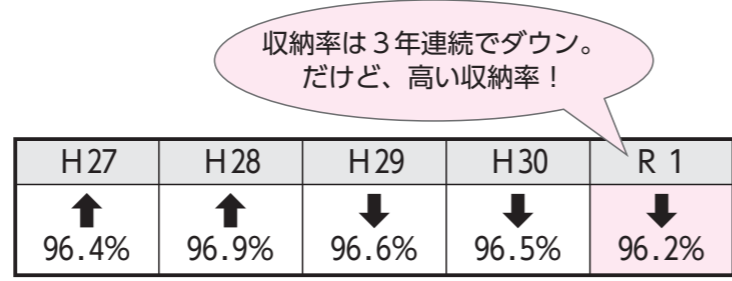


町民交流センターの借入金返済始まるが  
大石田分署完成で更に借入金増

### たばこ税・入湯税が大きく減! 「令和元年度町税」決算額と収納率

区分	R1 決算額	前年度比
町民税	2億6596万円	▲1074万円
固定資産税	3億27万円	▲68万円
軽自動車税	2666万円	111万円
たばこ税	422万円	▲347万円
鉦産税	36万円	▲1万円
入湯税	438万円	▲702万円
都市計画税	1789万円	▲13万円
合計	6億1974万円	▲2094万円

町税は、自主財源の約3分の1を占めています。町の収入としてはとても大切なお金です。軽自動車税を除く、全ての税が減額しています。たばこ税は、受動喫煙防止の取組み強化などにより45.2%減額。入湯税は、令和元年7月から課税免除したため、大きく減額となっています。



収納率は3年連続でダウン。だけど、高い収納率!

**【自主財源】**  
町税や繰越金など、町が独自に調達したお金。  
**【依存財源】**  
地方交付税や国庫支出金など、国・県から定められた金額が交付されるお金。

